

2026 年 7 月 15 日

## 東山動植物園前に体験型「どうぶつ身長くらべ仮囲い」を設置

### AR 等身大「ナナちゃん」も登場

～ 2 年半の工事期間を、訪れる子どもたちの成長を見守る空間へ～

名鉄都市開発株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役社長：日比野博、以下「当社」）は、名古屋市千種区で進める東山公園プロジェクト（マンション建設計画）の工事現場におきまして、東山動植物園様（名古屋市様）のご協力のもと、工事仮囲いを活用した地域貢献企画「東山動植物園前 どうぶつ身長くらべ仮囲い」を 2026 年 7 月 15 日（水）より設置いたしましたのでお知らせいたします。



（設置写真）



（全体デザイン）

## ■ 企画の見どころ

### ① どうぶつ身長くらべ（東山動植物園公認）

幅 22m×高さ 3m の仮囲いに、ゾウやゴリラなど東山動植物園の人気動物たちをほぼ実寸大で描画しました。東山動植物園を訪れる子どもたちが、自分の身長と動物たちの大きさを気軽に見比べて楽しめる、体験型のデザインとなっています。

### ② AR「飛び出す 2D ナナちゃん」

スマートフォンをかざすと、名古屋の顔・ナナちゃんが等身大で仮囲いから飛び出す AR コンテンツです。アプリ不要で、QR コードを読み取るだけで、どなたでもその場でお楽しみいただけます。

## ■ 本企画の背景・「3つの成長物語」に込めた想い

本プロジェクトは、竣工までの約 2 年半、近隣住民の皆様や東山動植物園の来園者の方々へご不便をおかけすることになります。そこで当社は、この工事期間を少しでも地域に寄り添うものとし、単なる工事用の壁を「子どもたちの成長を見守り、願い続ける温かい空間」に変えたいと考えました。

本仮囲いのデザインは、「子どもたちの成長」、少しずつ空へ伸びていく「22 階建てマンション（建物）の成長」、そして 2027 年 4 月に設立 5 周年を迎える「当社の成長」という『3つの成長』を重ね合わせています。「まちをつくる会社」として地域とともに歩み、これからの「未来をひらく」子どもたちの健やかな成長に、街全体で寄り添っていききたいという当社の強い想いを表現いたしました。

## ■ 実施概要

- **設置場所：**愛知県名古屋市千種区「東山公園プロジェクト」建設現地（東山動植物園正門前・地下鉄東山線「東山公園」駅 3 番出口すぐ）
- **板面サイズ：**幅 22,000mm×高さ 3,000mm
- **装飾期間：**2026 年 7 月 15 日～2028 年夏頃（予定）
- **企画協力：**名古屋鉄道株式会社、東山動植物園（名古屋市）

当社は今後も、地域との関係性構築を図りながら、魅力ある地域づくり・まちづくりに地域とともに取り組んでまいります。

以上

